

よしの道徳だより

令和 7年 2月 10日 第3号 発行「『ことば』の心」部

心かがやけ月間から2か月
あれから子どもたちは…

11月に実施しました「心かがやけ月間」では、保護者の皆様に道徳教育の推進にご理解とご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

月間の効果は、以降の子どもたちの健やかな成長につなげることが大切です。そこで、一部学年の道徳授業等とその後の姿（図中の吹き出し）を紹介します。



【学年・主題名等】2年「あいさつやひとことがあると」[B-(8)礼儀]

【課題】「さて、どうかな」

時と場に応じたあいさつなどについて話し合い、明るく礼儀正しく接しようとする大切さを感じました。

わたしは自分も相手も元気になるあいさつをしたいと思っています。なぜならばあいさつは心と心をつなげるからです。



道徳の授業で「本当にあいさつはいいなあ」と思いました。ぼくは朝のあいさつをした後にその人と話すことが増えました。



【学年・主題名等】5年「謙虚な心で相手の立場や意見を尊重すること」[B-(11)相互理解、寛容]

【課題】「ブランコ乗りとピエロ」

自分と異なる意見等を尊重し、広い心で人と接しようとする思いを持ちました。

生活の中で友達やきょうだいと意見の違うことがあります。でも、歩みよれば対立することもなく過ごせることがわかってきました。



一人一人の考えていることは同じようで違うことも多いと思います。なので、お互いに考えのよいところを大切にしたいと思っています。



【ホンモノにふれ感性を育む授業づくり事業】ヴァイオリン ピアノ 演奏会



【演奏される上野様と中川様】

心かがやけ月間には、ヴァイオリニストの上野清輝（せいき）様とピアニストの中川大様をお迎えしての演奏会も催しました。上野様はノルウェーのトロンハイム交響楽団で活躍中です。13年間コンサートマスターもお務めでした。中川様も指揮者や作曲家として国内外で活躍なさっていられています。お二人は楽しい掛け合いも交えながら「白鳥」や「木星」等の名曲を美しい音色で奏でてくださいました。また、代表の子にヴァイオリンの体験演奏もさせていただきました。

あれから2か月たちました。2人のお友達に演奏会を踏まえたうえでの今の気持ちを尋ねてみました（概要です）。



【ヴァイオリン演奏体験】

（ピアノを習っているお友達）

ピアノの演奏が滑らかで美しかったです。私もいろいろな表情を表現できるようにになりたいです。



（演奏体験したお友達）

挑戦してみるって面白いと思えました。ぼくも夢を持って挑戦し続けてその道のプロになりたいです。



美しい音色は、今も子どもたちの心の琴線に響いているようです。